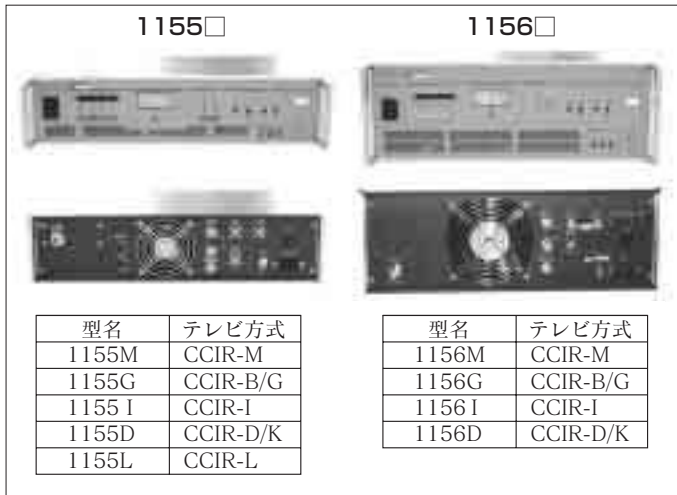


1155・1156

VHF/UHFテレビジョン変調器

アナログTV開発・生産設備



用途

本装置は、テレビ、VTRの生産工場において調整や受像テストに使用するTV変調器です。変調入力端子に映像及び音声信号を加えることによりテレビ放送電波と同等のRF信号を得ることができ、中央集中方式の信号源として適しております。

IF変調部をモジュール化し優れた特性を得ており長期間にわたり安定した信号を供給することができます。また、VHF/UHFともにコンバータ以降もセパレート方式ですから混変調ひずみに対しても安心してご使用できます。

特長

標準周波数特性、グループディレー特性を有するSAW-VSBFの使用とモジュール化された変調部を使用し、各部の合理的設計により小型化されておりますが高性能、高出力が得られます。

パネル面メーターにより映像、音声の変調度、RF出力レベルのモニタができ、各国方式の音声多重対応に対応が可能です。その他、チャンネル文字表示機能を内蔵しております。

構成

〈0.1W出力〉1155

本体 1

寸法 425(W)×99(H)×380(D)mm
(突起物を含まず)

質量 約13kg

付属品 電源ケーブル(3ピン→2ピン変換含む) 1

各出力コネクタに対応するプラグ 1式

取扱説明書・試験成績書 1部

電源 入力電圧許容範囲 AC90V~AC132V(50Hz/60Hz)

AC180V~AC250V(50Hz/60Hz)

消費電力 約100VA

〈1W出力〉1156

本体 1

寸法 425(W)×149(H)×380(D)mm
(突起物を含まず)

質量 約17kg

付属品 電源ケーブル(3ピン→2ピン変換含む) 1

各出力コネクタに対応するプラグ 1式

取扱説明書・試験成績書 1部

電源 入力電圧許容範囲 AC90V~AC132V(50Hz/60Hz)

AC180V~AC250V(50Hz/60Hz)

消費電力 約180VA

定格

電波形式

CCIRに基づく1方式、指定の1チャンネル

出力インピーダンス

50Ω (N-R) 不平衡

出力レベル

映像 0.1W、1Wの指定の電力(同期尖頭値)

(負変調時)

音声 定格P/S比に設定

入力インピーダンス

映像 75Ω (BNC-R) 不平衡

音声 600Ω (BNC-R) 不平衡

入力レベル

映像 VS1.0V (p-p) ±2dB 画正

音声 狭帯域 0dBm ~ +6dBm

広帯域 主信号 2.0V (p-p) 基準

正極性

変調方式

映像 DCクランプによるIF-AM平衡変調方式
音声 可変容量ダイオードによるIF-FM変調方式(PLL)
但し、CCIR-L方式は、IF-AM平衡変調方式

変調周波数

映像 IFv 38.9MHz
音声 IFa 34.4MHz(M、N)、33.4MHz(B/G)、
32.9MHz(I)、32.4MHz(D/K/L)

変調度

映像 定格87.5% 最大95%以上可能
音声 ±25kHz(M、N)、±50kHz(B/G、I、D/K)で
150%以上可能(FM)但し、CCIR(L)方式はAM
30%を基準にして最大90%以上可能

音声プリエンファシス(NARROWの時)

75μs(M、N)、または50μs(B/G、I、D/K)

搬送波周波数偏差

±5×10⁻⁶以内、F_A-F_V=10Hz以内

周波数変換方式

上側ローカルによるヘテロダイン方式

性能

周波数特性

映像 出力チャンネル帯域内にてCCIR送信特性に準ずる。
(帯域内±0.5dB)

音声 狭帯域 標準プリエンファシス特性に対して

50Hz~15kHzにて±1dB以内

広帯域 50Hz~60kHzにて0.5dB以内

50Hz~120kHzにて±1dB以内

直線ひずみ

映像 方形波入力に対して

ザグ 2% シュート 8%以内

K_p 3以下(SIN²パルスにて測定)

(注)標準復調器にて測定

非直線ひずみ

映像 DCクランプにて定格変調時APL10~90%の変
化に対して画成分ひずみ2%以内

同期成分ひずみ5%以内

音声 50Hz~60kHzにて0.5%以内

50Hz~120kHzにて1%以内

DG、DP

映像 定格変調時、APL10~90%の変化に対して

0.1W DG ±2%以内、DP ±2°以内

1W DG ±3%以内、DP ±2°以内

但し、CCIR-L方式(1W)は、DG ±3%以内、DP ±3°以内

雑音

映像 定格変調に対する雑音レベルは-55dB(p-p/rms)以
下(無評価)

ハム雑音 -60dB以下(p-p/p-p)

同期性雑音 -26dB以下(p-p/p-p)

(バズ雑音は音声定格変調値に対し、映像定格変調時

APL10~90%にて-46dB以下(注)インターキ

ャリア方式にて測定)

ICPM 2°以内

音声 400Hz定格変調を基準として

ディエンファシス入りの測定時 -60dB以下

出力変動

映像 定格変調時、APL10~90%の変動に対して出力
変動は2%以内

群遅延時間特性

各方式の標準特性の受信遅延特性に準ずる。

混変調

Fvレベル基準で-60dB以下

スプリアス

Fvレベル基準で-60dB以下

モニタ精度

各モニタ精度は±5%以内

モニタ機能

下記の項目をパネル面メーター表示により監修できます。

測定項目

1. 映像、音声の変調度

2. 映像、音声のRF出力レベル

御注文に際して次のことを御指定下さい。

1. 高周波出力電力 0.1Wまたは1W

2. 方式と国名、出力チャンネル周波数

3. 使用電源電圧